

村山の建北社が 楯岡小に20万円

寄付型私募債を活用

総合建設業の建北社（村山市、荒木秀昭社長）は3日、同市の楯岡小（工藤幸吉校長）に20万円を寄付し



た。山形銀行の寄付型私募債（夢みらい応援私募債）の発行手数料優遇分を活用した。

同校で贈呈式が行われ、荒木社長が「未来を担う子

建北社の荒木秀昭社長（中央）から工藤幸吉校長（左）に目録が手渡された

＝村山市・楯岡小

どもたちが健やかに育って
くれることを願っている。
夢や希望を持って元気に歩
んでほしい」とあいさつ。
目録を手渡された工藤校長
は「児童がより豊かに学ぶ

ことができるよう、有効に
活用させていただいた」と謝
辞を述べた。

同私募債は手数料優遇分
を原資に、発行企業が希望
する学校、文化施設などに
寄付金や物品を贈る仕組
み。同社は3月31日、運転
資金として1億円の私募債
を発行した。（板垣仁樹）